

新年にあたって

暖冬といわれた今年の冬もようやく大雪が降り、阿毘縁らしい冬になったことに安堵するとともに、今年も大きな災害がないことを願っています。

昨年はTPPの大筋合意、70年続いた戦後という歴史の幕が降ろされるかもしれない安保関連法制の成立など、我が国と農村の将来にとって大きな出来事が続きました。

また阿毘縁むらづくり協議会発足10周年並びに自治会合併2年という節目の年でもありました。

2016年も始まって早一か月が過ぎようとしていますが、日南町においても中心地域整備計画の重要な柱として4月に道の駅がオープンすることになっています。会員の皆さんも農産品の販売者（出荷者）として、あるいは購買者として良い関わりが築かれることを願っています。

ここ数年、古事記や出雲国風土記と阿毘縁地域の関わりを解き明かし、歴史ある地域として誇りを持つこと、御墓山から猿隠山の登山コースを整備し、自ら森林の恵みに親しむとともに、阿毘縁に関

会長 荒金 実

心を持ち訪れる方を増やす取り組みを進めてきました。

幸いこのような取り組みを自治会の合併とともに評価していただき、このたび鳥取県知事表彰を受けることができました（別稿参照：裏面）。改めて会員の皆様のご理解とご協力に感謝するとともに、表彰の喜びを今後の励みにしたいと思います。

猿隠山は「中国地方の山百選」にも選ばれており、東比田地域の取り組みとして山頂付近の木が伐採され、西の三瓶山から東の大山まで、遠くは宍道湖、美保湾、島根半島、時には隠岐島まで、美しい風景を四季折々、朝に夕に楽しむことができるようになりました。猿（申）年にちなんだイベントが計画できたらと思います。

また、今年度はむらづくり協議会並びに阿毘縁自治会の役員改選の年でもあります。将来を展望しながら、当面の課題を解決する責任を全うしていただける役員が選出されることを念願するとともに、皆様の一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

高原だより

発行

阿毘縁むらづくり協議会
阿毘縁自治会

電話/FAX 87-0909

平成28年1月

(通巻120号)



新春むらづくり懇談会 1月17日（日）

今年もゆきんこ村研修棟を会場に、恒例の新春むらづくり懇談会を開催しました。

増原町長さんをはじめ行政職員の方々をお迎えし、地域内からは19名の参加者で意見交換を行いました。阿毘縁からの要望を掲載します。回答につきましては次号で掲載します。

- ・自衛消防団機具庫建設に対する補助金制度を改善して下さい。
- ・中心地域整備計画の実施に伴い、住民の交通手段を充実して下さい。
- ・万丈峠の堆雪帯設置計画を早急に実現するとともに、加藤氏宅前より下手の県道を拡幅するよう県に要望して下さい。

支え愛ネットワーク視察報告②

2日目は、コミュニティカフェの二階で、社会福祉協議会の職員さんから、高島市で取り組んでいる地域福祉について、説明を聞きました。社会福祉協議会を中心に、地域の実情をしっかりと把握して、住民の思いを大切にしながら、長年積み重ね、築き上げてきた結果、住民自身が企画・運営する福祉フォーラムが開催できたのだと思いました。

その手順は、①住民が地域を見つめて、地域にある困りごとを解決するために何をしたら良いのかを話し合う事から始める。②日頃から地域で行っている「今出来ていること」を工夫する。③特定の役

員の活動にせず、広く仲間づくりをする、との事でした。

住民の力を信じて、熱心だけれど余裕のある気持ちで住民に接していることがうかがえました。住民が主体ですが、専門職が手や目を離さず、かゆいところに手が届く対応をしているとも思いました。

朽木の住民福祉活動フォーラム資料に、「十年後の朽木が、みんなを支え合い生きがいをもって、元気で安心して暮らせる地域だったらしいのにね」と書いてありました。「朽木」を「阿毘縁」に変えて、どんな風にしていったら良いのか、みんなで考えていきませんか？

報告者 荒金敏江

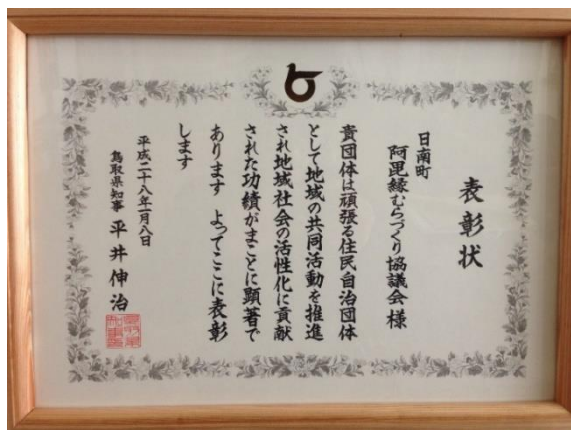
頑張る住民自治活動・鳥取県知事表彰を受賞

1月8日（金）知事公邸にて表彰式が行われ、日南町からは、阿毘縁むらづくり協議会・日野上まちづくり協議会が団体表彰を受賞しました。表彰の趣旨は、地域社会の活性化に貢献してきた自治会、町内会等の住民自治団体に対する表彰です。

【表彰内容】

国土創世の女神イザナギノミコトが葬られた山として伝えられる 御墓山(おはかやま)をはじめ、出雲国風土記にも記録された歴史 ロード等の地域資源を活かして、歴史講演や散策マップ、登山イベント、ウォーキング等のイベントに取り組む。阿毘縁地域ならではの魅力を発信することにより、交流人口を増やし、地域の活性化に貢献している。

また、人口減少、過疎化のため機能維持が困難となってきた 従来の自治会をむらづくり協議会に一本化したことは、住民の負担軽減と地域活動の活性化を無理なく両立させる先進的なものであり、他の地域にとっても参考となる取組である。



賞状は阿毘縁会館に展示してあります。

石橋さん牛舎棟上式

石橋弘充さんの牛舎の棟上式が1月12日（火）に行われました。今まで、丸山の牛舎に通っておられましたが、念願の地元阿での牛舎建設が始まりました。牛舎は2月中に完成予定です。

「念願の阿毘縁で牛飼いが出来る喜びを胸に、阿毘縁地域の中に溶け込めるように頑張っていきます」と石橋さんのやる気と覚悟が一杯の抱負を語っておられます。

高齢化が進む阿毘縁の中で、若者が頑張る姿を見ると元気をもらえます。若い力が阿毘縁の地に根を張りこれからの阿毘縁を支えて行くと思うと楽しみです。

みなさん方の応援をよろしくお願いします！



棟上式の様子

支援員のつばやき
 待望の？雪が積もった。これでようやく阿毘縁の冬らしくなったと、あきらめよう▼三〇数年前、私の阿毘縁での初めての冬は年末からかなりの積雪だった。正月休みに子供を連れて実家に帰った。正月明け、仕事帰りのバスの中、驚いた顔でこう話しかけられた。「よく帰ってきたなあ。阿毘縁は雪が降るけど人情は厚くて、良いところだけん」▼夫が冗談で、「雪に恐れていんでしまった」と話したのが、うわさになっていたらしい▼除雪体制もすっかりして、心配していたよりも快適に過ごせて、ありがたいと思っている。

小型家電の無料回収が始まりました。

【回収ボックス設置場所】

役場、各地域振興センター

※ 回収ボックスに入りきらない小型家電は、住民課窓口か清掃センターで回収します。



協議会活動記録

《一月》

十七日…新春むらづくり懇談会
 二十九日…第八回役員会議

これからの予定

《二月》

開催予定…役員選任委員会
 役員会

各部部会…総務部会
 自治協議会
 保健・福祉部会
 文化学習部会
 消防防災部会

《三月》

十八日…定期総会